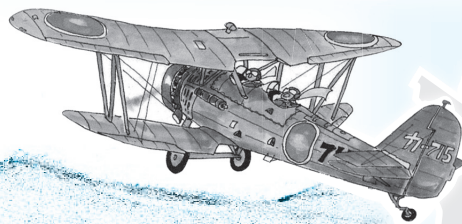


# 予科練 平和記念館だより



予科練平和記念館整備推進室では、予科練や海軍に関するお話しや写真を集めています。ご存じの人はぜひご一報ください。

ち らほらと夏祭りのニュースが聞こえてくるよ

うになりました。まだ生暖かい風が残る夕暮れの中車を走らせていると、はっぴを着たり花柄の浴衣に三尺を締めたりして三々五々歩いている子どもたちが行く先から、祭囃子がかすかに聞こえてくることがあります。とつぷり日が落ちると、屋台の立ち並ぶお祭りの会場では、裸電球に照らされて金魚やわたあめ、たこ焼きやラムネがキラキラ魅力を増してきて、何をすることもなくそぞろ歩いているだけでうきうきとします。こんな夜は、もしかしたら神様もこっそり人ごみにまぎれてお祭りを楽しんでるかもしれません。日本中に夏の夜の夢が訪れるこのごろ、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

●「予科練展Ⅲ 昭和の記憶」

8月2日(土)から17日(日)まで、夏季特別展を開催します。3回目の今年は「昭和の記憶」というタイトルをつけました。昭和天皇の

即位にはじまり、崩御で幕を閉じた「昭和」。その64年間は「激動」と称されます。世界中に戦争の嵐が吹き荒れ、多くの人命が失われたこの時代は今、「昭和時代」として歴史になりつつあります。「平成」の世になって20年、普段は意識していないところで、私たちの中から少しずつ、「昭和の記憶」が薄らいできてはいないでしょうか。

町では、こうした記憶を少しでも多く次の世代に伝えるため、予科練平和記念館の開館に向けて現在も資料を集めており、昨年度末までに8088点の資料が寄贈されました。これらの中には、戦時中町にあった土浦海軍航空隊(現在の陸上自衛隊武器学校一帯)や予科練生(海軍飛



▲戦時中の雑誌



▲九三式中間練習機に張ってあった布

行予科練習生・海軍の少年航空兵)に関係するもの以外にも当時を色濃く映し出す貴重な資料がたくさんあります。そこで、今回は戦前から戦後までの昭和初期の資料にスポットを当て、当時の暮らしがわかるものや子どもたちの勉強道具、遊びの体験、旧陸軍、海軍に関するものなどを紹介します。あわせて、阿見町出身の予科練生の遺品や、予科練生と一緒に土浦海軍航空隊で訓練を行っていた予備学生の資料も展示する予定です。また、当時阿見の空には「赤とんぼ」と呼ばれたオレンジ色の布張りの練習機がたくさん飛んでいましたが、今年にはいつて機体に使われていた布が町内で発見されました。国内にはこの練習機の実

物が残っていないため、非常に貴重な資料です。こちらもどうぞご覧ください。

今回は記念館開館前の最後の特別展になります。この機会にぜひ間近でご覧いただき資料の質感や色合いなども感じていただければと思います。これらは、長い時を刻みながらずっと待っていたのかもしれません。こうして皆さんに激動の「昭和」を語る日がくることを。どうぞ会場に足を運んで、資料の語る歴史に静かに耳を傾けてみてください。あなたには、どんな物語が聞こえますか？

## 夏季特別展「予科練展Ⅲ 昭和の記憶」を開催します

期日:8月2日(土)~17日(日)

※月曜日は図書館休館のため閉場

時間:午前9時~午後5時まで

※図書館開館時間と異なります

場所:図書館2階視聴覚室およびギャラリー

※8月9日(土)・16日(土)午後2時より元予科練生

による体験談をまじえた展示解説をおこないます。

希望者は当日時間までに受付にお集まりください。